

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： 小児感染症発症宿主因子探索システムの開発
提案機関名： 長崎大学

コメント

本提案は、複数のベトナム研究機関との共同により、住民の健康管理に当たる病院に限られコホート解析に好適な条件を有するベトナム中部カンホア地域において、従来からの研究実績に基づいて樹立された2,000人規模の出生コホートを対象に、200ほどの座位に関する宿主のゲノム多型解析を行い、感染症重症化に関する遺伝マーカーとしての有効性について検証しようとする計画である。既に相手国機関との臨床疫学研究の実績があり、研究に適したフィールドと考えられる同地域において、コホートもすでに樹立されていることから、期間内に検討が実施され、目的とする因子の探索につながる成果が期待される。

なお、本課題は相手国のニーズに基づいた実施内容であるものの、海外で実施される共同研究である。倫理面、法制面での問題や社会的影響に関連する先行研究が日本国内で未だ十分に行われていない状況であることから、データの管理や結果発表なども含め、倫理面や社会的影響等への配慮が十分に必要であることに留意しつつ、研究を推進することが必要である。